

ロイヤル ダッチ シェル ADR B(RDSB)

【セクター】 エネルギー

【市場】 NYSE

【企業概要】

総合エネルギーの世界的大手の一角で、オランダのロイヤルダッチペトロリウムと英国のシェルが経営統合した会社です。原油・天然ガスの生産を行う上流部門から石油製品・化学製品の生産・販売を行う下流部門まで手掛け、スマートエネルギーのソネンを買収するなど代替エネルギーへの多角化にも積極的です。18年の石油換算生産量は日量3.7百万バレル、18年末の原油確認埋蔵量は114億バレルで、運営するガソリンスタンドは4万4千店に達します。なお、業績表の1株あたりデータは1ADR（＝普通株2株）に対応する値です。

【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は％）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	305,179	16,359	3.94	3.77	46.7	8.6	48.6
18年12月期	388,379	20,923	5.02	3.77	48.5	10.6	50.7
19年12月期予想	351,316	18,545	4.52	3.76	47.3	9.4	—

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

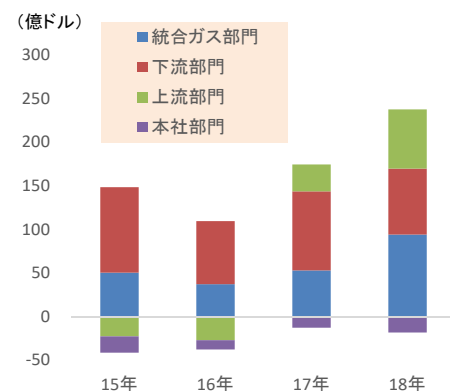
【主要指標】

図表1 欧米エネルギー大手の生産量

天然ガス生産上位(17年) (日量10億立方フィート)	
ロイヤルダッチシェル	10.7
エクソンモービル	10.2
BP	7.7
トタル	6.7
シェブロン	6.0
原油生産上位(18年) (日量千バレル)	
BP	2,091
エクソンモービル	2,018
ロイヤルダッチシェル	1,803
シェブロン	1,782
トタル	1,566

（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

図表2 部門別純利益



（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【会社の見方】

エネルギー総合大手の中では、天然ガスの事業比率が相対的に高いことが特徴です（図表1）。天然ガスの販売価格が17年の千立方フィート当たり4.27ドルから18年の5.13ドルに上昇したこともあり、18年12月期に「統合ガス」部門の売上構成比は11%に過ぎませんが、純利益では40%を占めています。天然ガスの需給は原油の需給よりもタイトに推移すると見込まれることから、業績は他の大手に比べて好調に推移する可能性があります。18年から20年にかけて250億ドルの自社株買いプログラムを実行中です（19年9月末時点で120億ドルが実施済み）。

【見通し・注目点】

7-9月期は、原油、ガス、LNG価格の下落と化学部門のマージン縮小を受けて、一時的要因を除く純利益は同15%減でした。部門別の純利益は、統合ガス部門が前年同期比17%増、下流部門が同5%増となったものの、上流部門の同53%減が相殺しています。CEOは、脆弱なマクロ経済環境や難しい見通しを考慮すると、自社株買いプログラムの完了時期を後ずれさせる可能性があるとしていました。

（SBI証券 投資情報部 榮 聡）

（更新日 19/11/20）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。